



## 平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年1月25日

上場会社名 株式会社デファクトスタンダード 上場取引所 東  
 コード番号 3545 URL http://www.defactostandard.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾嶋 崇遠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 丸尾 隆 TEL 03(4405)8177  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第1四半期の業績（平成28年10月1日～平成28年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	2,664	—	12	—	13	—	8	—
28年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	1.97	1.91
28年9月期第1四半期	—	—

(注) 平成28年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、数値及び対前年同四半期増減率は記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第1四半期	3,753	3,134	83.5	685.79
28年9月期	3,814	3,117	81.7	690.62

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 3,134百万円 28年9月期 3,116百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	—	—	0.00	0.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年9月期の業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,850	12.7	430	29.9	430	36.2	297	43.5	65.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当第1四半期累計期間における新株予約権の行使による発行済株式数の増加等を加味して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期1Q	4,570,000株	28年9月期	4,512,500株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	－株	28年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期1Q	4,520,000株	28年9月期1Q	－株

(注) 平成28年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 当期の経営成績

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み緩やかな回復基調で推移いたしました。新機軸経済の減速や英国のEU離脱問題、米国のトランプ政権誕生などにより海外経済の先行きは依然として不透明な状況となりました。

当社が属するリユース業界では、従来型の店舗やインターネットオークションを通じた取引に加え、近年、スマートフォンを利用して個人間でリユース品を売買する“フリマアプリ”市場が急速に拡大しております。このような環境の下、当社はリユース・ブランド及びファッション商品等(バッグ、洋服、時計、アクセサリ、財布、その他)に特化した買取・販売を、「ネット専業リユース事業」及び「その他事業」として展開してまいりました。

買取面では、前期に続き、買取サイト「ブランディア」に関するマス広告を行ったほか、当社が保有する買取関連サイト群の利便性を高める改修を行ってまいりました。また、平成28年12月にはMARK STYLER(株)の保有するファッションECサイト「RUNWAY channel」と提携した買取サービスを開始いたしました。以上の結果、買取サイトの訪問者数が増加し、当第1四半期累計期間における買取申し込み件数は124,743件(前年同期比24.2%増)、買取金額は1,391,732千円(前年同期比11.4%増)となりました。

販売面では、年末商戦に合わせて販売単価が比較的高価な商品の出品に注力した結果、当第1四半期累計期間における売上総利益率は49.8%となりました。また、自社販路である「ブランディアオークション」のシステム改修を行い使い勝手を向上させた結果、当社売上高に占める同サイトの売上構成比は前事業年度における17.6%から当第1四半期累計期間においては18.8%へ向上いたしました。一方、前期後半に出品を開始した「Yahoo!ショッピング」も順調に売上高を伸ばし、同サイトの売上構成比は当第1四半期累計期間において6.6%となりました。

また、当社は中長期的な成長拡大に向けてはシステムの開発及び活用が鍵になると認識しており、先行投資としてのシステムエンジニアの採用を積極的に行ってまいりました。

結果として売上高は堅調に推移し、2,664,498千円となった一方で、販売費及び一般管理費が1,314,959千円となり、利益面では営業利益は12,967千円、経常利益は13,800千円、四半期純利益は8,903千円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① ネット専業リユース事業

ネット専業リユース事業については、引き続き広告宣伝の増加に基づき買取商品が増加した結果、販売が増加し、外部顧客に対する当第1四半期累計期間の売上高は2,438,526千円、セグメント利益(売上総利益)は1,265,868千円となりました。

#### ② その他事業

その他事業については、外部顧客に対する当第1四半期累計期間の売上高は225,972千円、セグメント利益(売上総利益)は62,058千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べて73,412千円減少し、3,528,716千円(前事業年度末比2.0%減)となりました。これは主に、現金及び預金の減少(同150,986千円の減少)によるものであります。

##### (固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べて12,621千円増加し、224,683千円(前事業年度末比6.0%増)となりました。これは主に、有形固定資産の増加(同11,880千円の増加)によるものであります。

##### (流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べて78,601千円減少し、534,213千円(前事業年度末比12.8%減)となりました。これは主に、納税による未払法人税等の減少(同89,572千円の減少)によるものであります。

##### (固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べて166千円増加し、84,366千円(前事業年度末比0.2%増)となりました。これは資産除去債務の増加(同166千円の増加)によるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて17,643千円増加し、3,134,819千円(前事業年度末比0.6%増)となりました。これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加(同8,903千円の増加)によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、概ね当社の予想範囲内にて推移しており、平成29年9月期通期業績予想につきまして、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,326,868	2,175,881
売掛金	220,340	244,752
商品	995,002	1,050,162
貯蔵品	1,577	2,328
その他	58,340	55,590
流動資産合計	3,602,128	3,528,716
固定資産		
有形固定資産	139,224	151,104
無形固定資産	6,535	6,634
投資その他の資産	66,301	66,944
固定資産合計	212,061	224,683
資産合計	3,814,190	3,753,399
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	39,221	36,159
未払法人税等	100,616	11,044
その他	472,977	487,009
流動負債合計	612,814	534,213
固定負債		
資産除去債務	84,199	84,366
固定負債合計	84,199	84,366
負債合計	697,014	618,579
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,205,052	1,209,422
資本剰余金	1,121,079	1,125,449
利益剰余金	790,302	799,206
株主資本合計	3,116,434	3,134,078
新株予約権	741	741
純資産合計	3,117,176	3,134,819
負債純資産合計	3,814,190	3,753,399

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,664,498
売上原価	1,336,572
売上総利益	1,327,926
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	414,161
その他	900,798
販売費及び一般管理費合計	1,314,959
営業利益	12,967
営業外収益	
受取利息	0
為替差益	502
助成金収入	330
その他	0
営業外収益合計	833
経常利益	13,800
税引前四半期純利益	13,800
法人税、住民税及び事業税	3,581
法人税等調整額	1,315
法人税等合計	4,896
四半期純利益	8,903

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書 計上額 (注)2
	ネット専業 リユース事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,438,526	225,972	2,664,498	—	2,664,498
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,438,526	225,972	2,664,498	—	2,664,498
セグメント利益	1,265,868	62,058	1,327,926	△1,314,959	12,967

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整しております。